

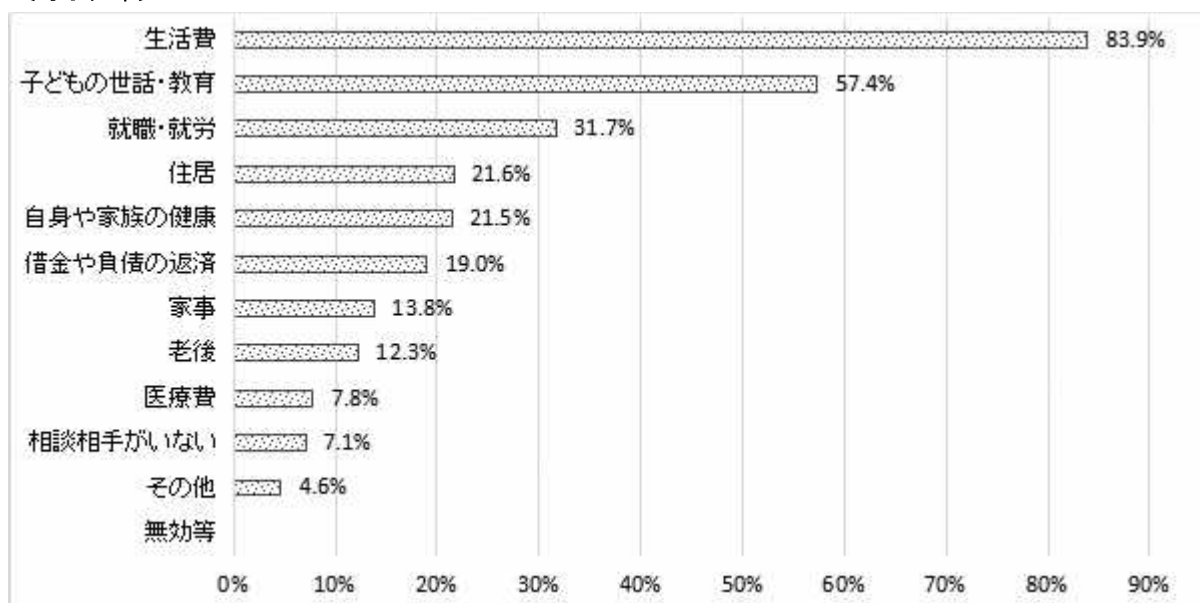
## VII. 困っていること

### 1 ひとり親家庭になったときに困ったこと（問48）

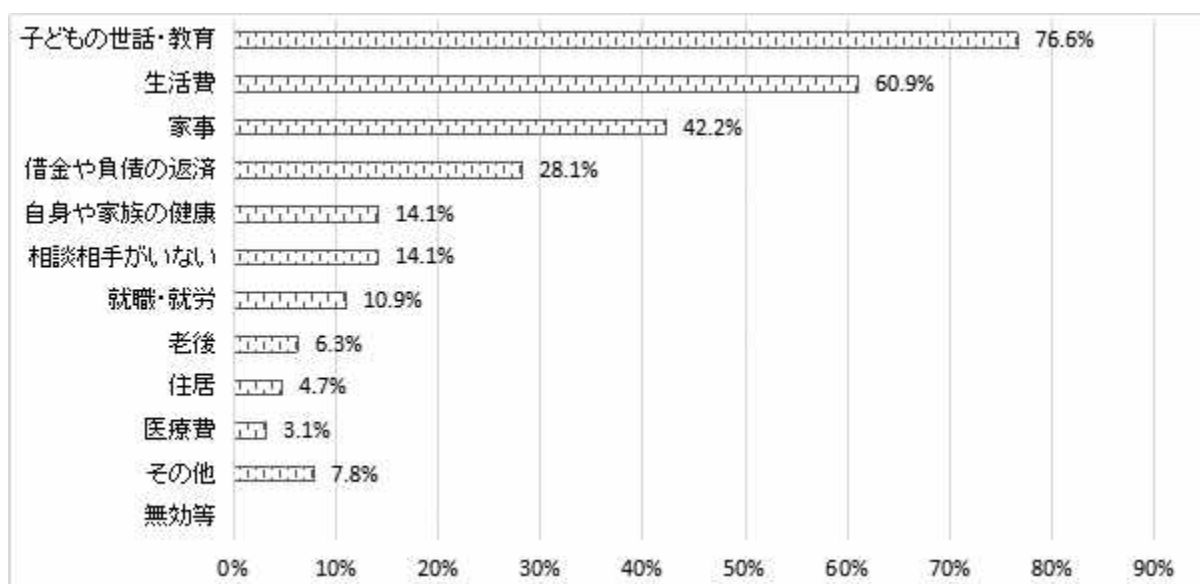
ひとり親家庭となった当時の悩みについて、母子世帯は「生活費」が83.9%と最も多く、次いで「子どもの世話・教育」が57.4%、「就職・就労」が31.7%となっている。

父子世帯は「子どもの世話・教育」が76.6%と最も多く、次いで「生活費」が60.9%、「家事」が42.2%となっている。

#### 〔母子世帯〕



#### 〔父子世帯〕



※無回答・無効回答については総数から除き、構成比は総数から無回答・無効回答を除いたところで算出した。

	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生活費	746	80.6%	39	54.9%	785	78.7%
医療費	69	7.5%	2	2.8%	71	7.1%
借金や負債の返済	169	18.3%	18	25.4%	187	18.8%
子どもの世話・教育	510	55.1%	49	69.0%	559	56.1%
就職・就労	282	30.5%	7	9.9%	289	29.0%
住居	192	20.7%	3	4.2%	195	19.6%
家事	123	13.3%	27	38.0%	150	15.0%
自身や家族の健康	191	20.6%	9	12.7%	200	20.1%
相談相手がない	63	6.8%	9	12.7%	72	7.2%
老後	109	11.8%	4	5.6%	113	11.3%
その他	41	4.4%	5	7.0%	46	4.6%
無効等	37	4.0%	7	9.9%	44	4.4%
総計	926	100.0%	71	100.0%	997	100.0%

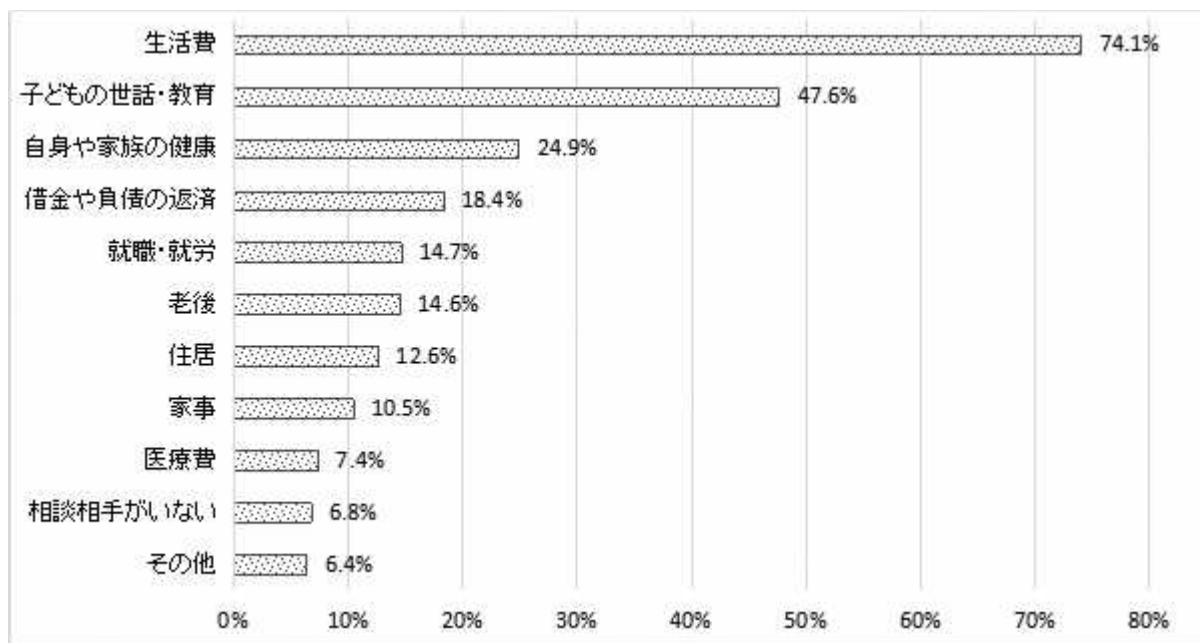
## 2 現在困っていること (問48)

### 2-1 現在困っていること

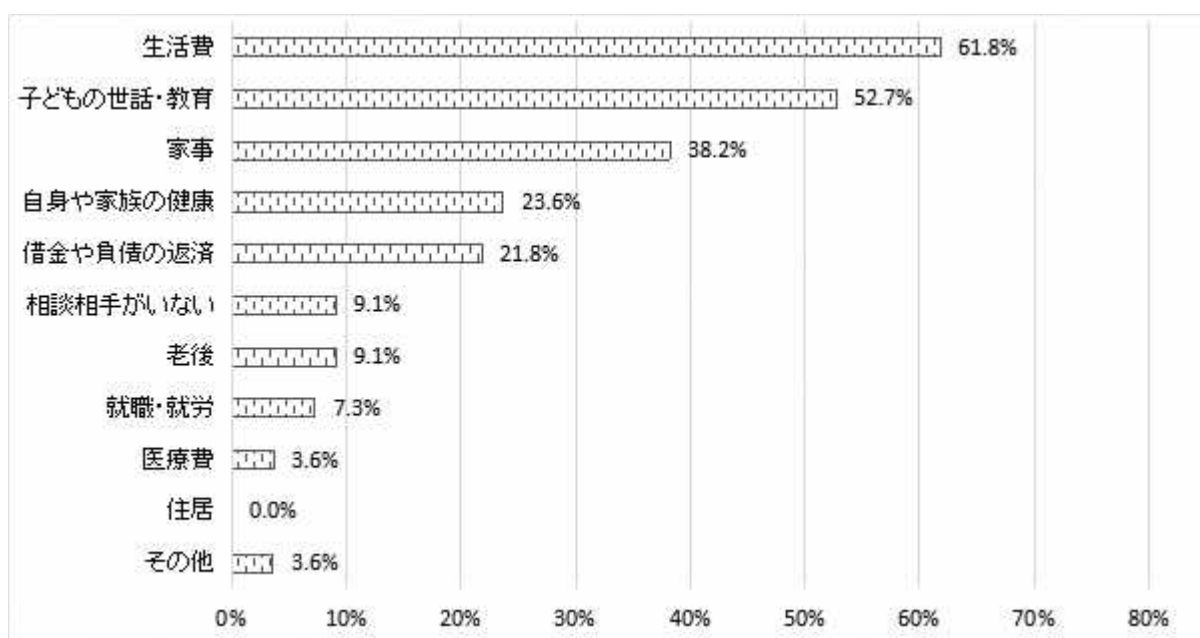
現在の悩みとしては、母子世帯は「生活費」が74.1%と最も多く、「子どもの世話・教育」が47.6%、「自信や家族の健康」が24.9%となっている。

父子世帯は、「生活費」が61.8%と最も多く、次いで「子どもの世話・教育」が52.7%、「家事」が38.2%となっている。

#### 〔母子世帯〕



#### 〔父子世帯〕



※無回答・無効回答については総数から除き、構成比は総数から無回答・無効回答を除いたところで算出しています。

	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生活費	580	74.1%	34	61.8%	614	73.3%
医療費	58	7.4%	2	3.6%	60	7.2%
借金や負債の返済	144	18.4%	12	21.8%	156	18.6%
子どもの世話・教育	373	47.6%	29	52.7%	402	48.0%
就職・就労	115	14.7%	4	7.3%	119	14.2%
住居	99	12.6%	0	0.0%	99	11.8%
家事	82	10.5%	21	38.2%	103	12.3%
自身や家族の健康	195	24.9%	13	23.6%	208	24.8%
相談相手がない	53	6.8%	5	9.1%	58	6.9%
老後	114	14.6%	5	9.1%	119	14.2%
その他	50	6.4%	2	3.6%	52	6.2%
無効等	(143)		(15)		(158)	
総計	783		55		838	

## 2-2 本人の就労収入別の現在困っていること

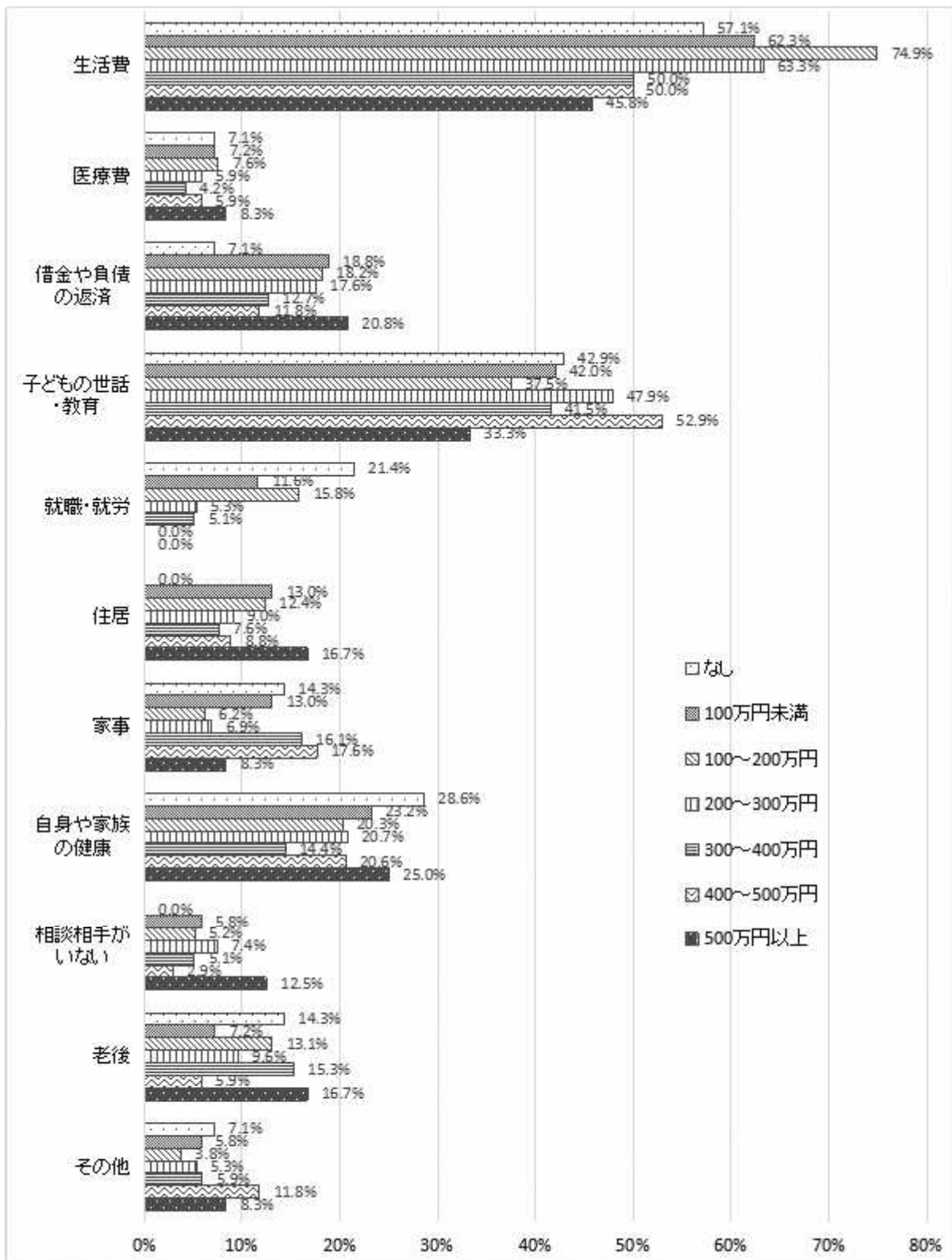
### (1) 母子世帯

本人の年間就労収入が「ゼロ」、「100万円未満」、「100万円以上200万円未満」、「200万円以上300万円未満」、「300万円以上400万円未満」、「500万円以上」の世帯は、いずれも「生活費」が最も多く、次いで「子どもの世話・教育」、「自身や家族の健康」の順となっている

「400万円以上500万円未満」の世帯は、「子どもの世話・教育」が52.9%と最も多く、次いで「生活費」が50.0%、「自身や家族の健康」が20.6%となっている。

本人の年間就労収入が少ない世帯ほど「生活費」が占める割合が高くなる傾向がある。

	なし		100万円未満		100～200万円		200～300万円		300～400万円		400～500万円		500万円以上		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
生活費	8	57.1%	43	62.3%	218	74.9%	119	63.3%	59	50.0%	17	50.0%	11	45.8%	475
医療費	1	7.1%	5	7.2%	22	7.6%	11	5.9%	5	4.2%	2	5.9%	2	8.3%	48
借金や負債の返済	1	7.1%	13	18.8%	53	18.2%	33	17.6%	15	12.7%	4	11.8%	5	20.8%	124
子どもの世話・教育	6	42.9%	29	42.0%	109	37.5%	90	47.9%	49	41.5%	18	52.9%	8	33.3%	309
就職・就労	3	21.4%	8	11.6%	46	15.8%	10	5.3%	6	5.1%	0	0.0%	0	0.0%	73
住居	0	0.0%	9	13.0%	36	12.4%	17	9.0%	9	7.6%	3	8.8%	4	16.7%	78
家事	2	14.3%	9	13.0%	18	6.2%	13	6.9%	19	16.1%	6	17.6%	2	8.3%	69
自身や家族の健康	4	28.6%	16	23.2%	59	20.3%	39	20.7%	17	14.4%	7	20.6%	6	25.0%	148
相談相手がない	0	0.0%	4	5.8%	15	5.2%	14	7.4%	6	5.1%	1	2.9%	3	12.5%	43
老後	2	14.3%	5	7.2%	38	13.1%	18	9.6%	18	15.3%	2	5.9%	4	16.7%	87
その他	1	7.1%	4	5.8%	11	3.8%	10	5.3%	7	5.9%	4	11.8%	2	8.3%	39
無効等	(2)		(9)		(34)		(25)		(27)		(9)		(4)		(110)
回答者数	14		69		291		188		118		34		24		738



(2) 父子世帯

本人の年間就労収入が「100万円未満」の世帯は、「生活費」が100.0%と最も多く、次いで「子どもの養育・教育」が75.0%、「借金や負債の返済」及び「就職・就労」が50.0%となっている。

「100万円以上200万円未満」の世帯は、「生活費」及び「子供の養育・教育」が75.0%と最も多く、次いで「就職・就労」が31.3%となっている。

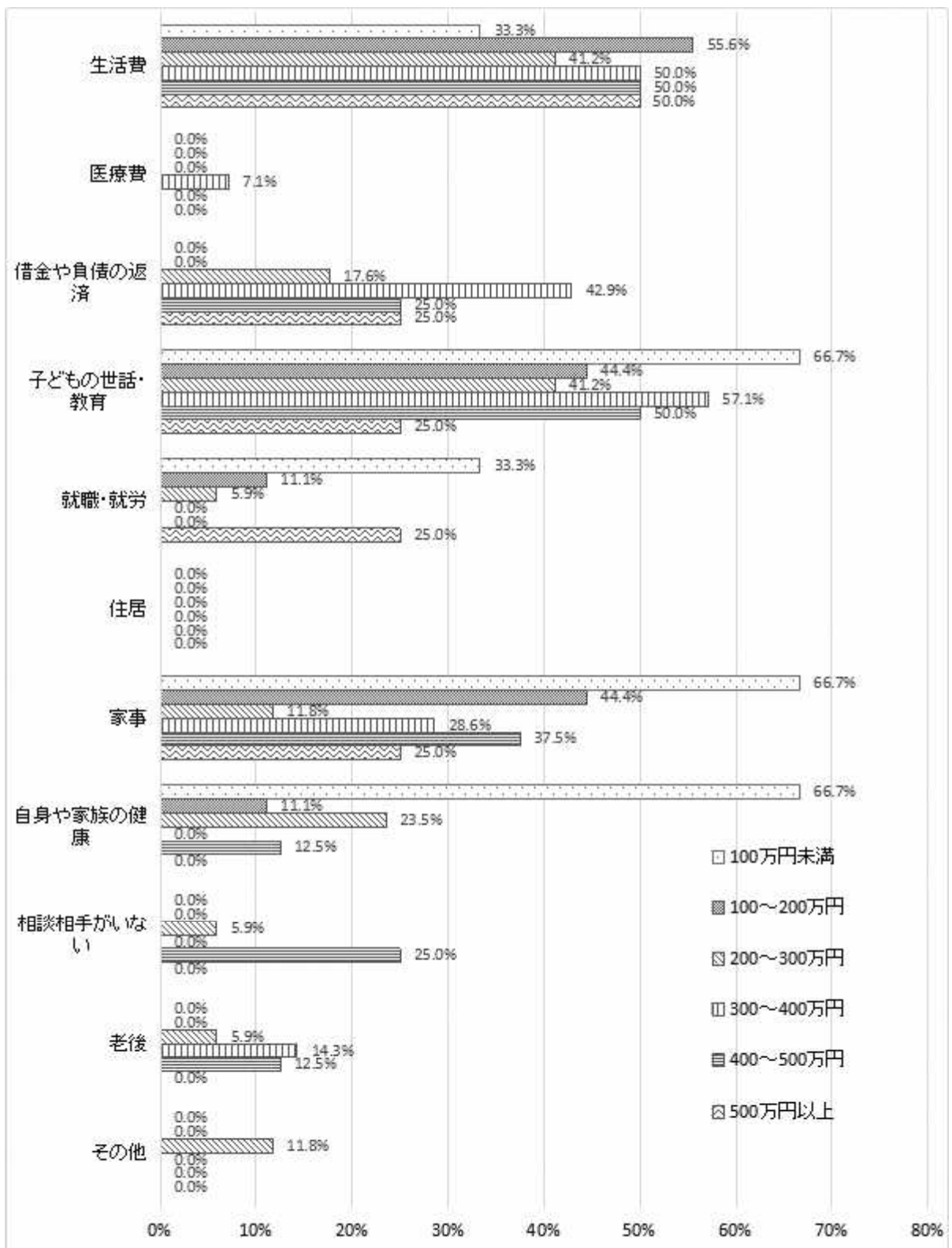
「200万円以上300万円未満」の世帯は、「生活費」が84.6%と最も多く、次いで「子どもの養育・教育」が50.0%、「借金や負債の返済」が42.3%となっている。

「300万円以上400万円未満」の世帯は、「生活費」及び「子どもの養育・教育」が66.7%と最

も多く、次いで「借金や負債の返済」、「家事」及び「自身や家族の健康」が33.3%となっている。

「400万円以上」の世帯は、「家事」が75.0%と最も多く、次いで「生活費」及び「借金や負債の返済」が50.0%となっている。

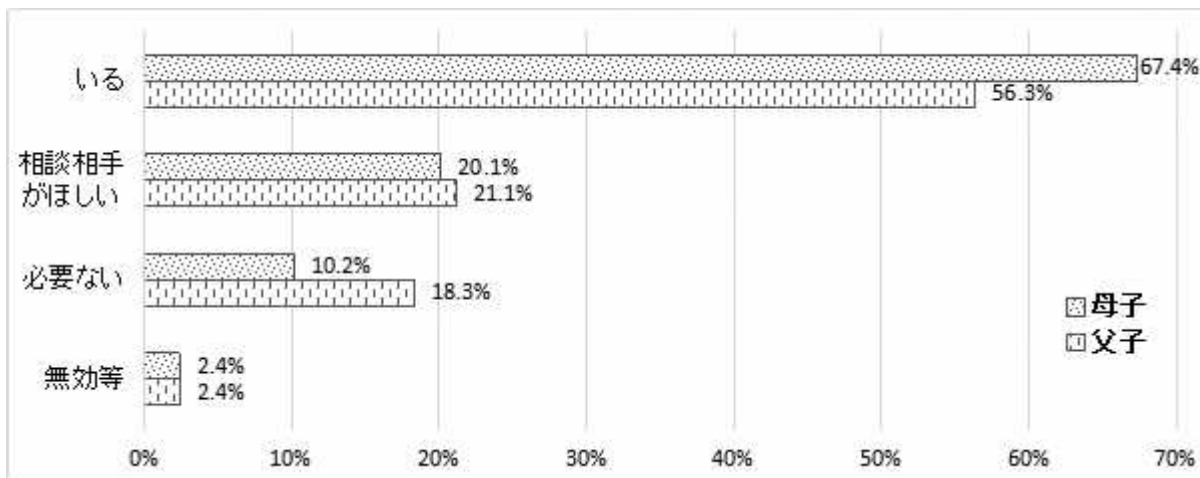
	なし		100万円未満		100～200万円		200～300万円		300～400万円		400～500万円		500万円以上		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数
生活費	0	0.0%	1	33.3%	5	55.6%	7	41.2%	7	50.0%	4	50.0%	2	50.0%	26
医療費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1
借金や負債の返済	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	17.6%	6	42.9%	2	25.0%	1	25.0%	12
子どもの世話・教育	0	0.0%	2	66.7%	4	44.4%	7	41.2%	8	57.1%	4	50.0%	1	25.0%	26
就職・就労	0	0.0%	1	33.3%	1	11.1%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4
住居	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
家事	0	0.0%	2	66.7%	4	44.4%	2	11.8%	4	28.6%	3	37.5%	1	25.0%	16
自身や家族の健康	0	0.0%	2	66.7%	1	11.1%	4	23.5%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	8
相談相手がいない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	3
老後	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	2	14.3%	1	12.5%	0	0.0%	4
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
無効等	(0)		(0)		(2)		(5)		(2)		(1)		(2)		(12)
回答者数	0		3		9		17		14		8		4		55





### 3 相談相手（問50）

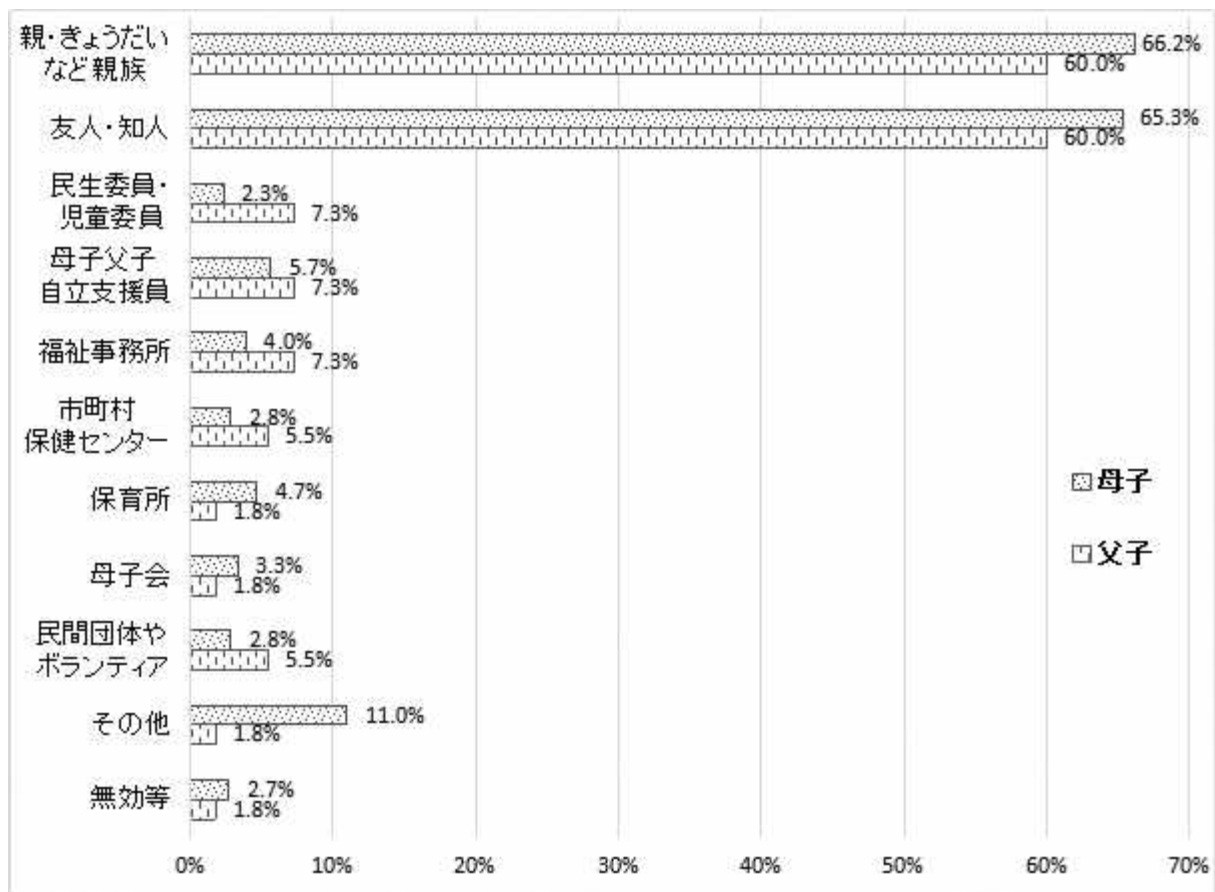
現在、相談相手がいるか否かについては、母子世帯の母の67.4%、父子世帯の父の56.3%で「いる」となっている。母子世帯の母の20.1%、父子世帯の父の21.1%が「相談相手がほしい」としている一方、「相談相手は必要ない」としたひとり親は、母子世帯で10.2%、父子世帯で18.3%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
いる	624	67.4%	40	56.3%	664	66.6%
相談相手がほしい	186	20.1%	15	21.1%	201	20.2%
必要ない	94	10.2%	13	18.3%	107	10.7%
無効等	22	2.4%	3	4.2%	25	2.5%
総計	926	100.0%	71	100.0%	997	100.0%

「相談できる相手がいる」ひとり親の相談相手は誰か、「相談相手がほしい」ひとり親はどのような相手に相談したいと思うかについて、母子世帯の母は「親・きょうだいなど親族」が66.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が65.3%となっている。

父子世帯の父は「親・きょうだいなど親族」及び「友人・知人」が66.0%で最も多かった。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
親・きょうだいなど親族	536	66.2%	33	60.0%	569	65.8%
友人・知人	529	65.3%	33	60.0%	562	65.0%
民生委員・児童委員	19	2.3%	4	7.3%	23	2.7%
母子・父子自立支援員	46	5.7%	4	7.3%	50	5.8%
福祉事務所	32	4.0%	4	7.3%	36	4.2%
市町村保健センター	23	2.8%	3	5.5%	26	3.0%
保育所	38	4.7%	1	1.8%	39	4.5%
母子寡婦福祉連合会	27	3.3%	1	1.8%	28	3.2%
民間団体やボランティア	23	2.8%	3	5.5%	26	3.0%
その他	89	11.0%	1	1.8%	90	10.4%
無効等	22	2.7%	1	1.8%	23	2.7%
回答者数	810	100.0%	55	100.0%	865	100.0%

#### 4 ひとり親家庭支援施策の認知状況

##### (1) 母子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策の認知状況について、「知っている」とした事業等は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く87.3%、次いで「母子父子寡婦福祉資金」の46.8%、「自立支援教育訓練給付金」の42.0%となっている。

前回（平成25年度）調査時点に比べて、平成27年度に開設した「鳥取県ひとり親家庭支援サイト及び「ひとり親家庭医療費助成制度」以外の事業等の認知度が上昇している。

（上段：構成比、下段：回答数）

	今回調査結果			前回調査結果			前回比
	知らない	知っている	無効等	知らない	知っている	無効等	
母子・父子自立支援員	58.1% (538)	41.4% (383)	0.5% (5)	66.8% (806)	32.7% (395)	0.5% (5)	8.7%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	85.3% (790)	13.0% (120)	1.7% (16)	92.5% (1116)	7.0% (84)	0.5% (6)	6.0%
ひとり親家庭支援サイト	68.7% (636)	29.3% (271)	2.1% (19)	—	—	—	—
ひとり親家庭等日常生活支援事業	80.3% (744)	18.4% (170)	1.3% (12)	88.7% (1070)	9.9% (120)	1.4% (16)	8.5%
ひとり親家庭等就業支援講習会事業	75.4% (698)	23.1% (214)	1.5% (14)	77.2% (931)	21.7% (264)	0.9% (11)	1.4%
自立支援教育訓練給付金	55.1% (510)	42.0% (389)	2.9% (27)	62.7% (756)	36.1% (437)	1.2% (13)	5.9%
高等職業訓練促進給付金	59.3% (549)	37.9% (351)	2.8% (26)	69.7% (840)	29.4% (354)	0.9% (12)	8.5%
母子父子寡婦福祉資金	50.4% (467)	46.8% (433)	2.8% (26)	59.0% (712)	40.1% (484)	0.9% (10)	6.7%
ひとり親家庭医療費助成制度	10.9% (101)	87.3% (808)	1.8% (17)	11.1% (134)	88.0% (1061)	0.9% (11)	-0.7%
一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連合会（母子会）	66.8% (619)	31.9% (295)	1.3% (12)	69.0% (932)	30.1% (363)	0.9% (11)	1.8%

（総回答数は、今回調査：926、前回調査：1206）

## (2) 父子世帯

ひとり親家庭を対象とした福祉施策の認知状況について、「知っている」とした事業等は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く、59.2%、次いで「母子・父子自立支援員」の36.6%、「母子父子寡婦福祉資金」の16.9%となっている。

前回（平成25年度）調査時点に比べて、一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連合会（母子会）の認知度が下がったが、平成27年度に開設した「鳥取県ひとり親家庭支援サイト」及び平成26年度から父子世帯も対象となった「母子父子寡婦福祉資金」を除く事業等の認知度は上昇している。

（上段：構成比、下段：回答数）

	今回調査結果			前回調査結果			前回比
	知らない	知っている	無効等	知らない	知っている	無効等	
母子・父子自立支援員	62.0% (44)	36.6% (26)	1.4% (1)	76.0% (76)	14.0% (14)	10.0% (10)	22.6%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	85.9% (61)	11.3% (8)	2.8% (2)	92.0% (92)	5.0% (5)	3.0% (3)	6.3%
ひとり親家庭支援サイト	83.1% (59)	14.1% (10)	2.8% (2)	—	—	—	—
ひとり親家庭等日常生活支援事業	88.7% (63)	8.5% (6)	2.8% (2)	89.0% (89)	3.0% (3)	8.0% (8)	5.5%
ひとり親家庭等就業支援講習会事業	87.3% (62)	12.7% (9)	0.0% (0)	88.0% (88)	3.0% (3)	9.0% (9)	9.7%
自立支援教育訓練給付金	81.7% (58)	15.5% (11)	2.8% (2)	87.0% (87)	10.0% (10)	3.0% (3)	5.5%
高等職業訓練促進給付金	85.9% (61)	9.9% (7)	4.2% (3)	91.0% (91)	6.0% (6)	3.0% (3)	3.9%
母子父子寡婦福祉資金	78.9% (56)	16.9% (12)	4.2% (3)	—	—	—	16.9%
ひとり親家庭医療費助成制度	36.6% (26)	59.2% (42)	4.2% (3)	43.0% (43)	56.0% (56)	1.0% (1)	3.2%
一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連合会（母子会）	84.5% (60)	11.3% (8)	4.2% (3)	77.0% (77)	16.0% (16)	7.0% (7)	-4.7%

（総回答数は、今回調査：71、前回調査：100）

## 5 ひとり親家庭支援施策の利用状況

### (1) 母子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、事業を「知っている」かつ「利用したことがある」とした母子世帯は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く77.6%、次いで「鳥取県ひとり親家庭支援サイト」の43.5%、「母子・父子自立支援員」の19.1%となっている。

前回（平成25年度）調査時点に比べて、「ひとり親家庭医療費助成制度」以外の全ての事業で「知っている」かつ「利用したことがない」とした人の割合が上昇している。

（一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連合会（母子会）については、今回調査の質問項目では「母子会の活動に参加したことがあるか」、前回調査では「母子会の会員か」としているため、比較の対象としない。）

（上段：構成比、下段：回答数）

	今回調査			前回調査			利用率 前回比
	利用した ことがある	利用した ことはない	無効等	利用した ことがある	利用した ことはない	無効等	
母子・父子自立支援員	19.1% (73)	80.9% (310)	0	33.9% (134)	65.8% (260)	0.3% (1)	-14.9%
ひとり親家庭福祉推進員（ライフ サポーター）	10.8% (13)	89.2% (107)	0	15.5% (13)	84.5% (71)	0.0% (0)	-4.6%
ひとり親家庭支援サイト	43.5% (118)	56.5% (153)	0	-	-	-	-
ひとり親家庭等日常生活支援事 業	5.3% (9)	94.7% (161)	0	8.3% (10)	90.8% (109)	0.8% (1)	-3.0%
ひとり親家庭等就業支援講習会 事業	8.4% (18)	91.6% (196)	0	14.4% (38)	84.8% (224)	0.8% (2)	-6.0%
自立支援教育訓練給付金	9.0% (35)	91.0% (354)	0	8.9% (36)	90.6% (396)	0.5% (2)	0.1%
高等職業訓練促進給付金	10.3% (36)	89.7% (315)	0	9.6% (34)	88.1% (312)	2.3% (8)	0.7%
母子父子寡婦福祉資金	7.9% (34)	92.1% (399)	0	10.3% (50)	86.2% (417)	3.5% (17)	-2.5%
ひとり親家庭医療費助成制度	77.6% (627)	22.4% (181)	0	72.5% (769)	25.2% (267)	2.4% (25)	5.1%
一般社団法人鳥取県母子寡婦福 祉連合会（母子会）	14.6% (43)	85.4% (252)	0	10.7% (39)	87.3% (317)	1.9% (7)	3.8%

※一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連合会（母子会）については、今回調査の質問項目では「母子会の活動に参加したことがあるか」、前回調査では「母子会の会員か」としている。

## (2) 父子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、事業を「知っている」かつ「利用したことがある」とした父子世帯は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く64.3%、次いで「ひとり親家庭等就業支援講習会事業」の44.4%、「鳥取県ひとり親家庭支援サイト」の40.0%となっている。

前回（平成25年度）調査時点に比べて、「母子・父子自立支援員」、「ひとり親家庭福祉推進員」、「ひとり親家庭日常生活支援事業」、「ひとり親家庭等就業支援講習会事業」を利用したことがある人の割合が上昇している。

	今回調査			前回調査			利用率 前回比
	利用した ことがある	利用した ことはない	無効等	利用した ことがある	利用した ことはない	無効等	
母子・父子自立支援員	23.1% (6)	76.9% (20)	0	21.4% (3)	78.6% (11)	0.0% (0)	1.6%
ひとり親家庭福祉推進員(ライフ サポーター)	25.0% (2)	75.0% (6)	0	0.0% (0)	100.0% (5)	0.0% (0)	25.0%
ひとり親家庭支援サイト	40.0% (4)	60.0% (6)	0	-	-	-	-
ひとり親家庭等日常生活支援事 業	33.3% (2)	66.7% (4)	0	0.0% (0)	100.0% (3)	0.0% (0)	33.3%
ひとり親家庭等就業支援講習会 事業	44.4% (4)	55.6% (5)	0	0.0% (0)	100.0% (3)	0.0% (0)	44.4%
自立支援教育訓練給付金	0.0% (0)	100.0% (11)	0	20.0% (2)	80.0% (8)	0.0% (0)	-20.0%
高等職業訓練促進給付金	14.3% (1)	85.7% (6)	0	33.3% (2)	66.7% (4)	0.0% (0)	-19.0%
母子父子寡婦福祉資金	25.0% (3)	75.0% (9)	0	-	-	-	-
ひとり親家庭医療費助成制度	64.3% (27)	35.7% (15)	0	69.6% (39)	30.4% (17)	0.0% (0)	-5.4%
一般社団法人鳥取県母子寡婦福 祉連合会(母子会)	0.0% (0)	100.0% (8)	0	6.3% (1)	93.8% (15)	0.0% (0)	-6.3%

## 6 ひとり親家庭支援施策の利用希望

### (1) 母子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、「知らなかった」かつ「今後利用したい」とした事業は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く、57.4%、次いで「母子父子寡婦福祉資金」の42.6%、「自立支援教育訓練給付金」の37.5%となっている。

	思う		思わない		無効等		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
母子・父子自立支援員	149	27.7%	266	49.4%	123	22.9%	538
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	173	21.9%	454	57.5%	163	20.6%	790
ひとり親家庭等日常生活支援事業	164	22.0%	469	63.0%	111	14.9%	744
ひとり親家庭等就業支援講習会事業	164	23.5%	413	59.2%	121	17.3%	698
自立支援教育訓練給付金	191	37.5%	233	45.7%	86	16.9%	510
高等職業訓練促進給付金	173	31.5%	270	49.2%	106	19.3%	549
母子父子寡婦福祉資金	199	42.6%	191	40.9%	77	16.5%	467
ひとり親家庭医療費助成制度	58	57.4%	29	28.7%	14	13.9%	101
一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連 合会(母子会)	203	21.9%	627	67.7%	96	10.4%	926

### (2) 父子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、「知らなかった」かつ「今後利用したい」とした事業は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く、57.4%、次いで「母子父子寡婦福祉資金」の42.6%、「自立支援教育訓練給付金」の37.5%となっている。

	思う		思わない		無効等		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
母子父子自立支援員	8	18.2%	25	56.8%	11	25.0%	44
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	13	21.3%	38	62.3%	10	16.4%	61
ひとり親家庭等日常生活支援事業	12	19.0%	41	65.1%	10	15.9%	63
ひとり親家庭等就業支援講習会事業	9	14.5%	42	67.7%	11	17.7%	62
自立支援教育訓練給付金	17	29.3%	33	56.9%	8	13.8%	58
高等職業訓練促進給付金	16	26.2%	37	60.7%	8	13.1%	61
母子父子寡婦福祉資金	25	44.6%	25	44.6%	6	10.7%	56
ひとり親家庭医療費助成制度	12	46.2%	8	30.8%	6	23.1%	26
一般社団法人鳥取県母子寡婦福祉連 合会(母子会)	12	16.9%	49	69.0%	10	14.1%	71

## 6-1 ひとり親支援施策を利用しない理由

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、「知っている」かつ「利用したことがない」とした事業について、利用しない理由を質問したところ、「ひとり親家庭医療費助成制度」は「利用の要件に合わなかったから」が最も多く、母子世帯で65.2%、父子世帯で46.7%となっている。

「ひとり親家庭医療費助成制度」以外のひとり親家庭支援策を利用しない理由については、「特に相談事がない」、「必要がない」、「予定がない」等、制度利用の必要性を感じていないという理由が最多となっている。

### 母子父子自立支援員に相談しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
特に相談事なかったから	138	44.5%	9	45.0%	147	44.5%
他に相談相手がいるから	82	26.5%	3	15.0%	85	25.8%
相談できることを知らなかったから	23	7.4%	3	15.0%	26	7.9%
その他	46	14.8%	4	20.0%	50	15.2%
無効等	21	6.8%	1	5.0%	22	6.7%
総計	310	100.0%	20	100.0%	330	100.0%

### ひとり親家庭福祉推進員に相談しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
特に相談事なかったから	51	47.7%	4	66.7%	55	48.7%
他に相談相手がいるから	35	32.7%	0	0.0%	35	31.0%
相談できることを知らなかったから	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%
その他	14	13.1%	2	33.3%	16	14.2%
無効等	6	5.6%	0	0.0%	6	5.3%
総計	107	100.0%	6	100.0%	113	100.0%

### 日常生活支援事業を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	76	47.2%	3	75.0%	79	47.9%
具体的な支援が分からないから	40	24.8%	0	0.0%	40	24.2%
登録手続きがわずらわしいから	24	14.9%	0	0.0%	24	14.5%
登録方法が分からないから	14	8.7%	0	0.0%	14	8.5%
他の制度を利用しているから	5	3.1%	0	0.0%	5	3.0%
その他	20	12.4%	1	25.0%	21	12.7%
無効等	7	4.3%	0	0.0%	7	4.2%
回答者数	161	100.0%	4	100.0%	165	100.0%

### パソコン講習会を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	111	56.6%	2	50.0%	113	56.5%
研修日程や時間が合わなかったから	67	34.2%	0	0.0%	67	33.5%
研修情報が得られなかったから	21	10.7%	0	0.0%	21	10.5%
同様の研修を受講したから	8	4.1%	0	0.0%	8	4.0%
その他	19	9.7%	2	50.0%	21	10.5%
無効等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	196	100.0%	4	100.0%	200	100.0%



### 自立支援教育訓練給付金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
予定がないから	246	69.5%	9	81.8%	255	69.9%
経済的な負担が大きいから	106	29.9%	4	36.4%	110	30.1%
手続きの方法が分からないから	29	8.2%	0	0.0%	29	7.9%
その他	33	9.3%	1	9.1%	34	9.3%
無効等	5	1.4%	0	0.0%	5	1.4%
回答者数	354	100.0%	11	100.0%	365	100.0%

### 高等職業訓練給付金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
予定がないから	226	71.7%	5	83.3%	231	72.0%
経済的な負担が大きいから	104	33.0%	1	16.7%	105	32.7%
手続きの方法が分からないから	16	5.1%	0	0.0%	16	5.0%
その他	25	7.9%	0	0.0%	25	7.8%
無効等	6	1.9%	0	0.0%	6	1.9%
回答者数	315	100.0%	6	100.0%	321	100.0%

### 母子父子寡婦福祉資金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	227	56.9%	4	44.4%	231	56.6%
利用の要件に合わなかったから	64	16.0%	3	33.3%	67	16.4%
手続きの方法が分からないから	42	10.5%	0	0.0%	42	10.3%
手続きがわずらわしいから	60	15.0%	1	11.1%	61	15.0%
その他	46	11.5%	3	33.3%	49	12.0%
無効等	6	1.5%	0	0.0%	6	1.5%
回答者数	399	100.0%	9	100.0%	408	100.0%

### 特別医療費助成制度を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	33	18.2%	5	33.3%	38	19.4%
利用の要件に合わなかったから	118	65.2%	7	46.7%	125	63.8%
手続きの方法が分からないから	19	10.5%	0	0.0%	19	9.7%
手続きがわずらわしいから	6	3.3%	1	6.7%	7	3.6%
その他	12	6.6%	2	13.3%	14	7.1%
無効等	5	2.8%	1	6.7%	6	3.1%
回答者数	181	100.0%	15	100.0%	196	100.0%

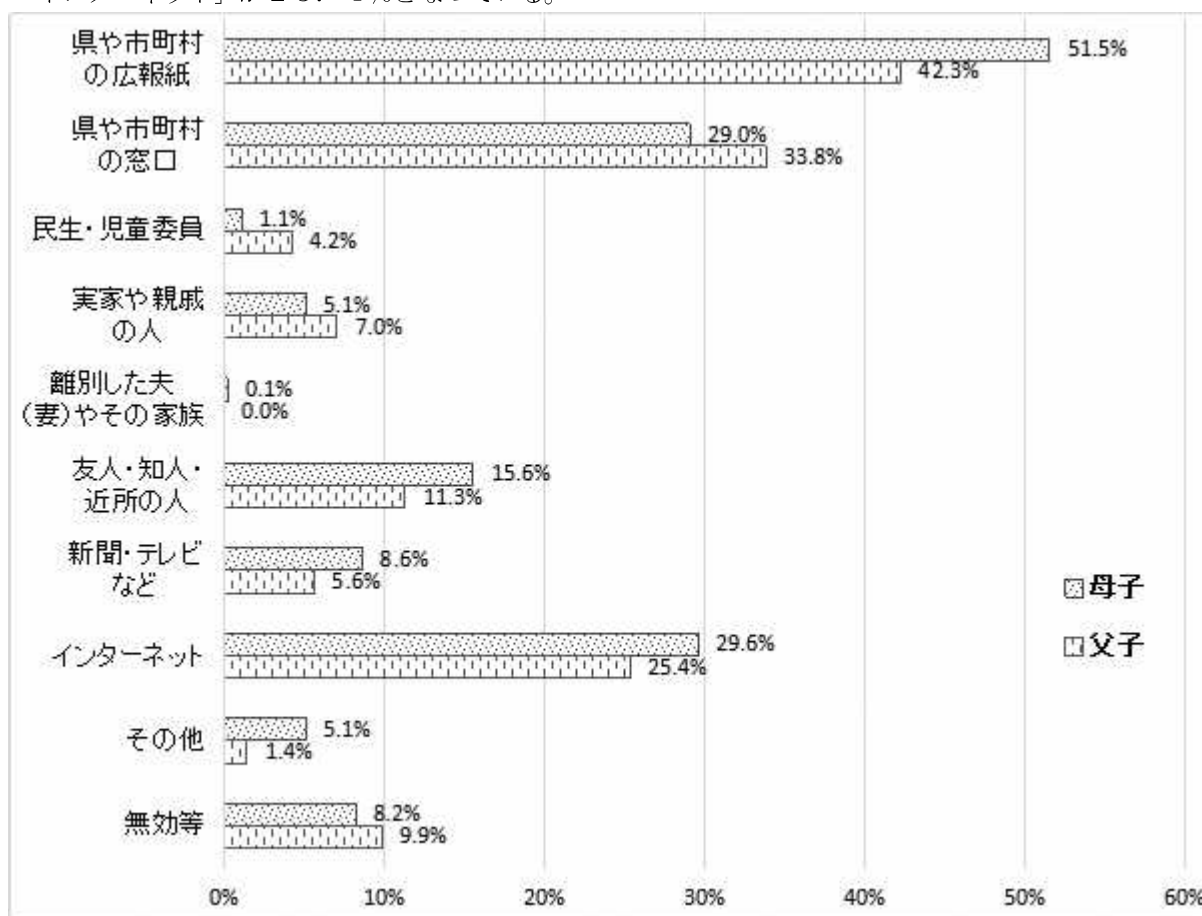
### 母子会イベント不参加の理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
参加したい事業がないから	131	52.0%	5	62.5%	136	52.3%
事業の情報が得られなかったから	56	22.2%	2	25.0%	58	22.3%
参加の方法が分からないから	40	15.9%	0	0.0%	40	15.4%
その他	46	18.3%	2	25.0%	48	18.5%
無効等	8	3.2%	0	0.0%	8	3.1%
回答者数	252	100.0%	8	100.0%	260	100.0%

## 7 行政によるひとり親家庭支援施策の入手方法（問61）

ひとり親がどのような方法で行政によるひとり親家庭支援施策を入手しているかについて、母子世帯は、「県や市町村の広報誌」が51.5%と最も多く、次いで「インターネット」が29.6%、「県や市町村の窓口」が29.0%となっている。

父子世帯は、「県や市町村の広報誌」が42.3%と最も多く、次いで「県や市町村の窓口」が33.8%、「インターネット」が25.4%となっている。

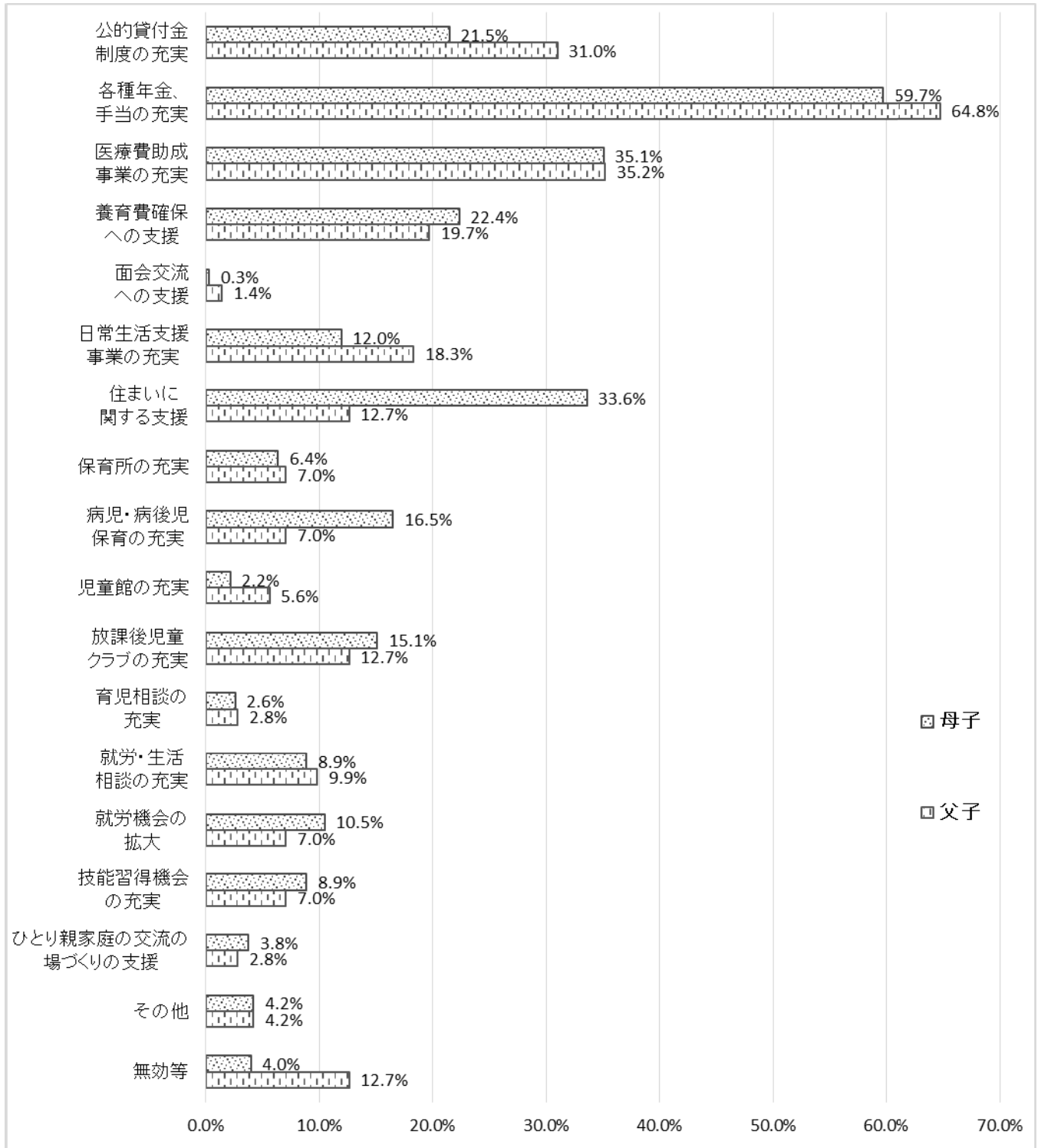


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
県や市町村の広報誌	477	51.5%	30	42.3%	507	50.9%
県や市町村の窓口	269	29.0%	24	33.8%	293	29.4%
民生・児童委員	10	1.1%	3	4.2%	13	1.3%
実家や親戚の人	47	5.1%	5	7.0%	52	5.2%
離別した夫やその家族	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
友人・知人・近所の人	144	15.6%	8	11.3%	152	15.2%
新聞・テレビなど	80	8.6%	4	5.6%	84	8.4%
インターネット	274	29.6%	18	25.4%	292	29.3%
その他	47	5.1%	1	1.4%	48	4.8%
無効等	76	8.2%	7	9.9%	83	8.3%
回答者数	926	100.0%	71	100.0%	997	100.0%

## 8 行政機関への要望（問62）

母子世帯は、「各種年金、手当の充実」が59.7%と最も多く、次いで「医療費助成事業の充実」が35.1%、「住まいに関する支援」が33.6%、「養育費確保への支援」が22.4%となっている。

父子世帯は、「各種年金、手当の充実」が64.8%と最も多く、次いで「医療費助成事業の充実」が35.2%、「公的貸付金制度の充実」が31.0%、「養育費確保への支援」が19.7%となっている。



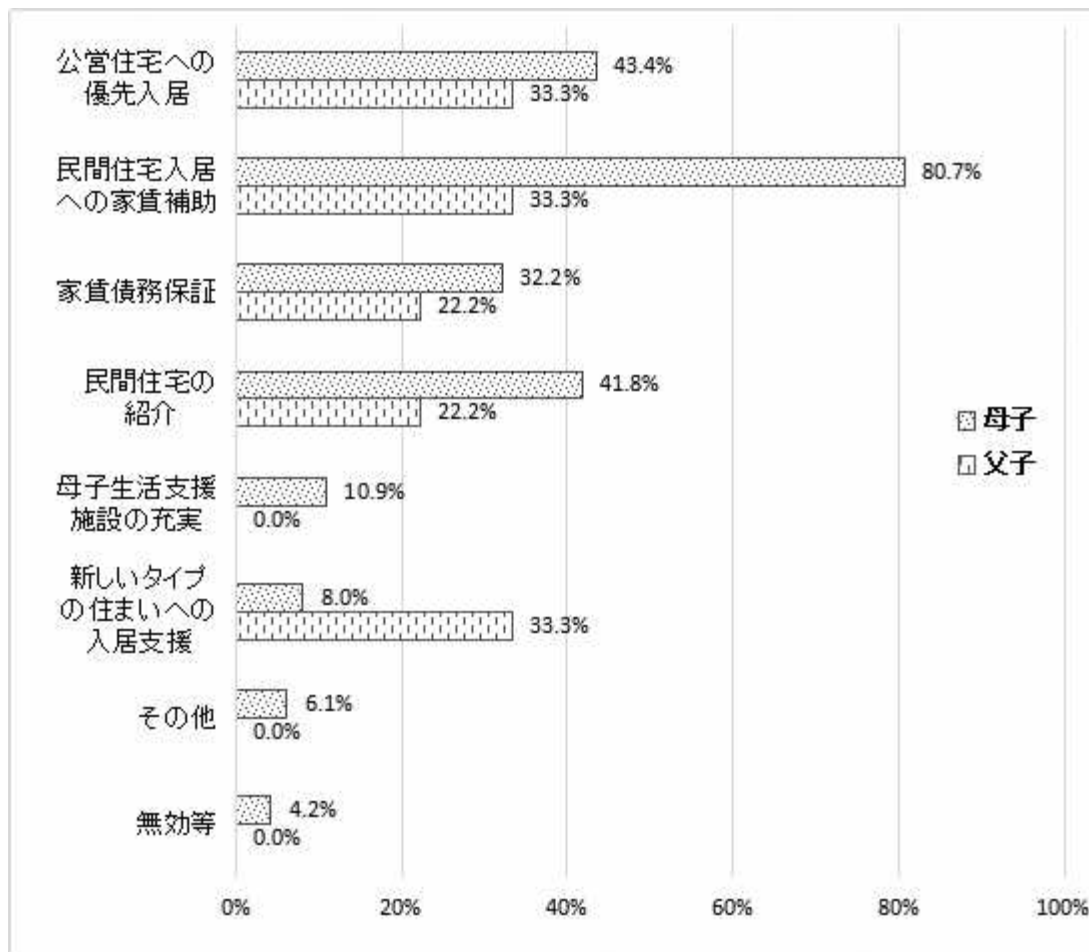
母子		
	回答数	構成比
各種年金、手当の充実	553	59.7%
医療費助成事業の充実	325	35.1%
住まいに関する支援	311	33.6%
養育費確保への支援	207	22.4%
公的貸付金制度の充実	199	21.5%
病児・病後児保育の充実	153	16.5%
放課後児童クラブの充実	140	15.1%
日常生活支援事業の充実	111	12.0%
就労機会の拡大	97	10.5%
就労・生活相談の充実	82	8.9%
技能習得機会の充実	82	8.9%
保育所の充実	59	6.4%
ひとり親家庭の交流の場づくりの支援	35	3.8%
育児相談の充実	24	2.6%
児童館の充実	20	2.2%
面会交流への支援	3	0.3%
その他	39	4.2%
無効等	37	4.0%
回答者数	926	

父子		
	回答数	構成比
各種年金、手当の充実	46	64.8%
医療費助成事業の充実	25	35.2%
公的貸付金制度の充実	22	31.0%
養育費確保への支援	14	19.7%
日常生活支援事業の充実	13	18.3%
住まいに関する支援	9	12.7%
放課後児童クラブの充実	9	12.7%
就労・生活相談の充実	7	9.9%
保育所の充実	5	7.0%
病児・病後児保育の充実	5	7.0%
就労機会の拡大	5	7.0%
技能習得機会の充実	5	7.0%
児童館の充実	4	5.6%
育児相談の充実	2	2.8%
ひとり親家庭の交流の場づくりの支援	2	2.8%
面会交流への支援	1	1.4%
その他	3	4.2%
無効等	9	12.7%
回答者数	71	

## 8-2 住まいに関する支援についての要望（問62）

行政機関への要望事項で「住まいへの支援」を選択した回答者に、具体的にどのような支援が望むかを質問したところ、母子世帯は「民間住宅入居への家賃補助」が最多で80.7%、次いで「公営住宅への優先入居」が43.4%、「ひとり親家庭の入居に積極的な民間住宅の紹介」が41.8%となっている。

父子世帯は「公営住宅への優先入居」「民間住宅入居への家賃補助」「新しいタイプの住まいへの入居支援」がそれぞれ33.3%で最多となっている。



	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
公営住宅への優先入居	135	43.4%	3	33.3%	138	43.1%
民間住宅入居への家賃補助	251	80.7%	3	33.3%	254	79.4%
家賃債務保証	100	32.2%	2	22.2%	102	31.9%
民間住宅の紹介	130	41.8%	2	22.2%	132	41.3%
母子生活支援施設の充実	34	10.9%	0	0.0%	34	10.6%
新しいタイプの住まいへの入居支援	25	8.0%	3	33.3%	28	8.8%
その他	19	6.1%	0	0.0%	19	5.9%
無効等	13	4.2%	0	0.0%	13	4.1%
回答者数	311		9		320	